

歓迎イベント

初“アワイち”気分を盛り上げてくれた!



①会場となった国営明石海峡公園の全景。ここで歓迎イベントやじゃんけん大会が開かれた。翌日のスタート&フィニッシュラインもここ
②これが“玉ねぎ娘”たちのダンスだ! 笑って楽しめた。来年も頑張って踊ってほしい
③淡路島名物の人形浄瑠璃。遠方からの参加者にとっては、こうした地元芸能にも心が和む。ロングライド参加者の安全を祈願して一献
④今年“佐渡”に続いて初めて“淡路島”に導入された簡易計測チップ。参加者全員に配布され、完走証明になった。回収しなくていいところがポイント

●治道から拍手を送る地元のおばちゃん。コース沿いに町が点在しているのが、随分とこんな光景が見られた。随分アワイち、は地元の声援が本場に温かい



エイドステーション

●大阪から参加した一条アルチメイト真面目なお客さんチーム。古里里右店長は地元淡路島出身。愛されていますね、鉄板コース



●ハワイでお世話になったロングライドファン、メンパーにエイドで偶然ばったり。東京から大挙して参加。来年一緒に走りましょう!

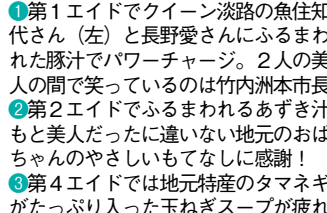


GOAL!



●最終走者は初の150kmロングライド。制限時間10時間をややオーバーしたものの、最後まで走り切った。へとへとゴールながらよくやった!

ちょっと寄り道



●大人気のアイス屋さん「G.ELM」のアイスを楽しんでいる二瓶俊介さん。昨年は飛ばしすぎたので今年はおびり参加中

START!



●さあ行くぞ! スタートに向けてDJタネさんが呼びかける。「1、2、3」。それに合わせてみんながコブシを突き上げた。「ダーッ!」

激坂!



●第1エイドを過ぎて立て続けに襲う2つの激坂。2つ目の由良の峠は道幅が狭く交通規制がかかっている。初心者にはけっこうツライ上り

灘大川の坂



●第2エイドの後に続く3つの激坂の1つ。1つ目の激坂はかなりキツイ。自転車を降りて歩く参加者の姿がかなり目立つ。後方には海岸線の絶景

うずしお峠



●最後の激坂では、僕もかなり脚にきた。そんな僕を正面から捉えた大前カメラマン。撮るなよ! このあとにももう一つ小さい坂があった……



●地元チーム「ぐるぐる」のメンバー。初心者から上級者まで和気あいあいと走っているのが印象的。やっぱりイベント時の「アワイち」は特別!

2011淡路島ロングライド150

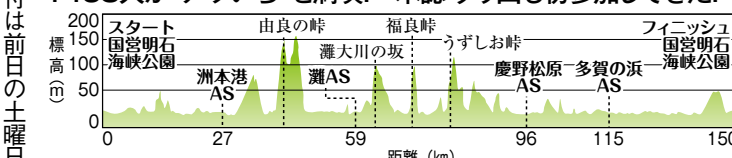
一周150kmの“アワイち”に挑戦!

開催日 ● 2011年10月9日(日) 開催地 ● 兵庫県・淡路島
主催者 ● 2011淡路島ロングライド実行委員会
淡路島ロングライド150公式サイト
www.awajishima-longride.jp
text ● 本誌・クリ山 photo ● 大前 仁/本誌



●南淡路水仙ラインや淡路サンセットラインといった海沿いの快走路が続くのが、“アワイち”の特徴。今年は雲一つない快晴!

今年で2回目を迎えた淡路島一周イベント“淡路島ロングライド”。昨年はあいにくの雨の中の開催だったが、今年はずっと快晴。絶好のロングライド日和のもと、1438人が“アワイち”を満喫! 本誌・クリ山も初参加してきた!



●最高標高の由良の峠でも150mほど。中盤の3つの峠を越えればあとは海岸沿いの快走路だ。全般的に小刻みなアップダウンがあるので、初ロングライド参加者には挑戦しがいがあるコースレイアウト。

大会受付は前日の土曜日。朝の東京駅、新幹線のプラットホームには輪行姿の自転車乗りが目につく。新神戸からクルマで移動。明石海峡大橋を目にして、初めて淡路島にきた実感が湧いてきた。スタート会場は国営明石海峡公園。すぐ目の前が海というロケーションだ。受付をすませると15時から主催者による歓迎セレモニーが始まり、ダンスや音楽演奏、淡路島の伝統芸能、人形浄瑠璃、と歓迎ムード。メーカー協賛によるじゃんけん大会ではウエアや地元の特産品、ビデオカメラなどが当たり、会場はヒートアップ。明日に備え、今日はゆっくり休もう。

早朝4時半。暗いなか、1400人を超す人がうごめいている。福長港の先にも大きな上り。上り切ると、右に大きく曲がる。真つすが行くくと大鳴門橋。島の反対側まで走ってきたことになる。この先は内陸の細かい起伏のある道で、参加者は少人数にばらけて走ることが多くなっていく。12時過ぎには96km地点の慶野松原エイドに到着。ここでは名物のうかれまんじゅうが。しかしすでにない。食べ損なって残念! 地元淡路島のチーム「ぐるぐる」のメンバーとしばし談笑。初心者を上級者がサポート。コンビニや仲間の仮設エイドに立ち寄りながら走っていたのが、地元ライダーらしくて微笑ましかった。ここから淡路サンセットラインに入り北上。どこまでも続くシーサイドラインはスピードに乗れて気持ちいい。淡路島は3分の2ぐらいが本当に海沿いの道。島一周の醍醐味がたっぷり味わえる。最後の多賀の浜エイドでは、淡路島特産の玉ねぎスープが! これ、疲れた体にはたまらないぞ。今年はずっと天候に恵まれたせいか、エイドでゆっくりする参加者が多く、制限時間を一杯使い、「アワイち」を楽しんでいた。

明石の町が正面に見える明石海峡大橋のたもとを過ぎると最後の上り。ゴールに戻ってきた。淡路島は、関東の荒川サイクリングロード同様、関西の定番コースだが、「アワイち」初挑戦の僕にもその人気の理由がわかった。適度なアップダウンと爽快なシーサイドラインの続くこの島は、初心者から上級者まで楽しめる。コンビニにサイクリングマップが置いてあるなど、自転車に対する地元の理解がうれしい。ここは正に関西の鉄板ベストロードだ!